

本の森 8月号



丹波篠山市立中央図書館通信 No. 203 2022年8月1日 発行

今月の特集

夏・あそび

『夏』。海・山・川、自然の中でのあそびが楽しい季節です。コロナウィルス対策で思うように動けない夏が続き、庭先にピザ窯を作ったり、車中泊に挑戦したりと、近場で気軽にアウトドアでのレジャーを楽しむ方が増えているようです。

今月は、あそびの計画や前後の調べものに使える本、夏のゆかたの着こなし、^{じんべい}甚平や子ども服のハンドメイド、子どもの室内あそびに関する本など、いろいろな夏のあそびを取り上げた本を集めました。

夏のひととき、読書による暑気払い^{しよきばら}はいかがですか。

『キャンプでしたい100のこと』

フィグインク編 西東社 786.3 キ



本書は「キャンプの可能性は無限大」だと100の提案から伝えていきます。キャンプを最高に楽しんでいるあなたにも、初心者の方、アウトドアは苦手、読むだけで満足という方まで、すべての読者向けの本です。

炭火で焼くトースト、石焼きステーキ、^{くんせい}燻製、焼マシュマロ、流しそうめんなど、キャンプでの食の楽しみは尽きません。バードウォッチング、水辺での水切り、焚火、星空、^{のたて}野点といった自然を満喫しながらの活動もたくさんあります。キャンプ用具一式の効果的な選び方や引き算の方法、^{おっくう}億劫になりがちな車への積み込み、テントに虫を呼び込みにくいランタンの使い方などアイデア満載です。キャンプは自由に楽しむものですが、「自然を大切に」「安全第一で」「まわりの迷惑にならないように」とのルールを守って、楽しいキャンプをお過ごしください。(栗田)



マークデザイン
加藤昌男

文学の 棚から



『さんず』

ふる た てん
降田 天 著 小学館 Fフル

5話からなる物語には、事情の異なる死にたくても死にきれない人々が登場する。生きづらさを抱えながらも死にきれない者に届く、QRコードのみが記された白いカード。専用ホームページに出てくるのは「よりそいプラン」と「もろともプラン」。現れるのは見た目も性格も正反対な男性バディ「スガ」と「かとう」。“さんず”と名乗る二人の自殺幫助業者に導かれ、死と対峙することで浮き彫りにされるのは、依頼人自身も気づかなかった本当の気持ち。生きることの意味を問う物語。

著者・降田 天は、プロット（ストーリー）担当の萩野 瑛と執筆担当の鮎川 颯による女性作家ユニット。自らをフィクション作家だと前置きしたうえで「不道德なこと、不謹慎なことを含む非現実の出来事を頭の中で想像し、作品として出力する仕事をしている」と述べています。極めて難しくデリケートなテーマに挑んだ作品です。（酒井）

『いきもの六法』

日本の自然を楽しみ、守るための法律』

中島 慶二ほか 監修 山と溪谷社 480.91

一般書の 棚から

規制解除により、国内旅行の計画を立てられている方も多いのではないかと思います。旅先の砂浜で貝を拾ったり、森の木の実を持ち帰るなどの行為は素敵な思い出作りですが、生き物の種類やその場所によっては法律違反になるかもしれません。

本書では、指定した場所（尾瀬や上高地など）での全ての生き物の採取（抜け殻、木の実を含む）を禁じた「文化財保護法」など、生き物に関する法律や条例の概略、禁止事項を解説。「どんな行為が、なぜダメなのか」を、実際の逮捕例などを交え学ぶことができます。

想像よりも厳しいと思われるかもしれませんが、それも自然を未来の子どもたちに残すため。「全ての生き物が絶滅危惧種」ということにならないように、法律やマナーを守って生き物や自然に親しみましょう。（西澤）



レファレンスの 棚から

こんぱ レファレンス(調査依頼)がありました

「デカンショ音頭について知りたい」

「デカンショ節考」（E6/00/マ）などによると、江戸時代から盆踊りの時に唄われていた「みつ節」がその原型です。明治時代になると、篠山の学生たちはみつ節の歌詞を自分たちで考え、囃子ことばの「デコンショ」を付けるなどして唄いました。その結果学生歌として愛されていき、丹波篠山の民謡としても定着することになりました。デカンショの由来はどっこいしょ、糸車の音のデコンショ、出稼ぎしよう、でござんしょう、哲学者デカルト、カント、ショーペンハウエルの頭文字、天下将、今宵は夜を徹して飲むので『徹今宵』など、諸説あります。（西澤）

Y onde M ite

よ ん で み て

『Y onde M ite』のコーナーでは利用者の方から寄せられたお勧めの一冊を掲載します

『幸せについて』
谷川 俊太郎 著 911.56 夕
2018.12 出版



過去が気にならない、未来も
気にならないで、「いま・ここ」
に在る。これが、ぼくが考える
幸せの基本形。谷川俊太郎が
いま考えている「幸せ」につい
て、言葉で探る。

ペンネーム 周五郎ヴァン

『親ガチャという病』
池田 清彦 ほか 著 304 才
2022.03 出版



分断、孤立、不寛容…どう
してこんな社会になったのか？
「親ガチャ」「無敵の人」「反出
生主義」など、ネット発の流行
語に着目し、日本社会の表層に
浮上しつつある違和感や陋習、
問題点を、それぞれの識者が掘
り下げる。

ペンネーム 琉球菘

『老活の愉しみ』
帚木 蓬生 著 498.3 八
2020.04 出版



小説家で医師である著者が、
長年の高齢者診療や還暦での
白血病の経験を踏まえて実践
している「食事」「習慣」「考え
方」とは。心と身体を100歳
まで活躍させるための、快活な
年の重ね方を提案する。

ペンネーム ターシャ

『四季の色 堀明子詩集』
堀 明子 著 911.56 ホ
1989.07 出版



16歳で命を落とした著者。
わずか9歳の少女がひらがなま
じりで書いた詩は読む人の心を
温かくする不思議な力を持って
いる。全国で詩集展やコンサ
ートも開催されている。

ペンネーム 野の花

『フェルマーの最終定理』
サイモン シン 著 412 シ
2000.01 出版



夢と情熱の物語。美しく簡
潔な問いの裏に隠された数
学者達の歴史とその終わり。
苦悩を乗り越えた数々の挑
戦の歴史。

ペンネーム しょう

『カルトの子
心を盗まれた家族』
米本 和広 著 169.1 ヨ
2021.03 出版



カルト団体という閉ざされ
た世界で育てられると、子ども
の心はどうなってしまうのか。
元・子どもたちに取材した戦慄
のルポです。

ペンネーム 千里隼人



映画上映会のお知らせ

入場無料
申し込み不要

「天使のいる図書館」

2017年 日本 108分

■監督 ウエダ アツシ

■出演 小芝 風花・横浜 流星 ほか

■日時 8月12日(金) 14:00 ~ 15:50
8月13日(土) 15:00 ~ 16:50

■場所 中央図書館 視聴覚ホール

新人司書の吉井さくらは、生真面目で不器用な性格が災いし、レファレンスサービスの仕事に行き詰まりを感じていた。ある日さくらは古い写真を持ち歩く老婦人・芦高礼子と知り合い、彼女のレファレンスを担当することになる…。

豊かな自然が広がる奈良県の葛城地区を舞台に、新人司書の成長を描く心温まるヒューマンドラマ。

図書館カレンダー 8月 行事予定

日	月	火	水	木	金	土
	1 休	2 休	3	4	5	6
7	8 休	9	10 図書館の日	11	12	13
14	15 休	16	17	18	19	20
21	22 休	23	24	25	26	27
28	29 休	30	31 休			

【中央図書館】

★ 毎月10日は丹波篠山だけ図書館の日
全館：8/10(水) 終日

★ 「平和の本コーナー」
展示ホール：7/29(金)～8/12(金)

★ 「書道展」
展示ホール：8/30(火)～9/13(火)

★ 「映画上映会」
視聴覚ホール：8/12(金)・13(土)

※イベントは行わない場合があります。

新刊コーナーの変化にお気づきいただきましたか？

これまで分類別のみで配架されていた新刊ですが、入ったばかりの新刊を別に配置することにしました。「今週の新刊」と題して毎週金曜日・朝10時に新刊台の左端の棚に並びます。どうぞお楽しみください。

在架予約が可能になったり、各支所で利用者カードが作れるようになったりと、図書館は少しずつ変化しています。

これからも市民の皆さまに寄り添う図書館であり続けたいと願いつつ、職員一同皆さまのご利用・ご来館をお待ちしております。

インフォメーション

